（様式第３号）

パブリックコメント（意見公募）手続による意見募集の結果公表

意見募集結果及び寄せられた意見に対する市の考え方について、次のとおり公表します。
ご協力に感謝申し上げます。

【意見募集の集計結果】

1	案 件 名	第５期千歳市地域福祉計画（素案）	
2	意見募集期間	令和６年12月16日（月）～ 令和７年１月15日（水）	
3	意見の件数（提出者数）	10件（３人）	
4	意見の取扱い （対応内容の分類）	① 案を修正するもの	件
		② 既に案に盛り込んでいるもの	３件
		③ 今後の参考とするもの	３件
		④ 意見として伺ったもの（案件に直接関係がないため）	４件
5	意見の受け取り方法	電子メール	１人
		郵送	人
		ファクシミリ	人
		意見箱	１人
		直接持参	１人

【市民意見等の概要とそれに対する市の考え方】

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
1	在宅で最期を迎える人の医療・看護・介護は今後どのような計画があるのか、また、現在、在宅医療の受容及び需要と供給バランスは整っているのか。	1	分類～②既に案に盛り込んでいるもの 令和６年度から８年度を計画期間とする「千歳市高齢者福祉計画・第９期千歳市介護保健事業計画」におきましては、医療と介護の一体的な提供に向けた取組として、地域の医療・介護や在宅医療を含めた連携の検討と提供体制の構築推進などを行うほか、在宅医療・介護の連携体制整備として、医療・介護関係者の情報共有の支援や相談支援、研修などを行うこととしており、本計画では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう医療及び介護、介護予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化・推進の取組を進めることとしております。 なお、在宅医療を含め、医療提供体制の構築は市町村で決定できるものではなく、北海道の計画などで広域的に整備することになっております。 本市の在宅医療の需要につきましては、各個人の考え方や家庭の状況などによりニーズが異なり変化することから、把握は難しいものと考えておりますが、供給体制につきましては、在宅医療を実施する市内医療機関が、令和６年より２か所から３か所に増えており、在宅医療の充実が図られているところです。

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
2	自宅で倒れたとき、現在は、①健康・医療相談ダイヤル24、②夜間救急病院、③救急車での対応が考えられるが、医師会が力を入れている「かかりつけ医」が往診できる体制にして、市民の本当の意味での家庭医として相談できるように整えることで、自宅での死亡確認、適切な医療機関への搬送ができるのではないか。	1	分類～③今後の参考とするもの 本市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進する取組を進めており、身近に医療等について相談などをすることができる「かかりつけ医」の役割は大きいものがあると認識しております。 なお、「かかりつけ医」の往診につきましては、各医療機関において医師や看護師等スタッフの確保などの課題があることから、すべての「かかりつけ医」が往診を行うことは難しいものと考えておりますが、在宅で医療を受けている方の緊急時の対応が円滑に行われるよう「かかりつけ医」と往診を行う医療機関や、訪問看護事業者、介護事業所などとの連携を推進してまいります。
3	訪問医療について、益々高齢者の人口が増えることで必要だが、訪問医療機関の充足はどうなのか。	1	分類～③ 今後の参考とするもの 在宅医療の需要つきましては、各個人の考え方や家庭の状況などによりニーズが異なり変化することから、把握は難しいものと考えておりますが、供給体制につきましては、在宅医療を実施する市内医療機関が、令和６年より２か所から３か所に増えており、在宅医療の充実が図られているところです。 今後も医療と介護の一体的な提供に向け、在宅医療・介護連携の課題を検討し、これらの連携体制の充実に向け取り組んでまいります。

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
4	成年後見制度を利用するためには安心安全が必要である。利用者が利用するときの保障が担保されなければならないと思うが、そのための制度は整っているのか。また、後見人を監視する制度や機関はあるのですか。	1	分類～②既に案に盛り込んでいるもの 成年後見制度については、「千歳市成年後見支援センター」を千歳市社会福祉協議会に委託し、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でなく、成年後見制度の利用が必要な方の支援を行っており、本計画の個別施策に位置付け取り組むこととしております。 また、市では、身寄りのなく、本人が申立てを行えない方などについて、市長が代わって申立てを行うほか、低所得の方に対してその費用や後見人等の報酬を助成しています。 後見人を監視する制度や機関については、後見人（保佐人・補助人）に広範な代表権・財産管理権が付与されていることから、その権限の行使が適正に行われているのかを監視し、問題がある場合にはこれを是正させる必要があるため、年１回、家庭裁判所による後見等事務の報告や財産目録等の点検により、後見人等の監視・監督を行っています。 なお、資産が多い場合など、被後見人等の状況により、後見人を監督する法定後見監督人が選任される場合があります。

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
5	街灯が街路樹によって歩道側が暗い（街灯の光は車道側に当たっている）ので、街灯と街路樹のあり方を考えてほしい。また、日中、道路パトロール車が走行しているのを見かけたことがあるが、車道を走行するだけでは分からないことも多々あると思う。また、各家庭の門灯をつけてもらうことだけでも少しは違うと思う。	1	分類～④意見として伺ったもの（案件に直接関係のない内容） 本市では「千歳市街路樹等の維持管理」に基づき、高木については３年に１回、低木については年１回を基本に剪定を実施しているほか、街路樹が街路灯の光を遮っている場合や、車両や自転車、歩行者の通行の妨げとなっている場合など、交通安全上支障があると判断したものについては、適宜、剪定や撤去を実施しているところであります。 道路パトロールは、舗装路面や街路灯、標識、街路樹などの状態を目視により確認し、異常等があると判断した時には、近接目視や触診等により点検を行っているほか、市民からの情報提供により現地を確認し、状況に応じて適宜対応しております。 なお、市では、夜間における歩行者空間の安全や防犯のため、町内会等が地域の実情に応じて防犯灯を設置する場合、設置補助制度を設けており、町内会等への防犯灯LED化の推奨を行っております。 今後も、道路パトロールや市民からの情報提供により現地の状況を確認し、適切な維持管理に努めてまいります。 なお、今回のご意見につきましては、関係部署に情報提供させていただきます。

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
6	千歳は国の主要な産業（ラピダス）、空港、自衛隊と、他国から標的にされやすい施設があると思うが、シェルターの設置は考えているのか。	1	分類～④意見として伺ったもの（案件に直接関係のない内容） 武力攻撃事態等における住民の避難及び避難住民等の救援を的確かつ迅速に実施するため、北海道は、国民保護法第148条の規定に基づき、ミサイル攻撃等の際の爆風等から直接の被害を軽減するための一時的な避難先として、コンクリート造りの堅牢な建築物等を「緊急一時避難施設」として指定を進めており、本市においては、市内の小中学校や公共施設等、78か所が指定されているところです。 国の財政支援を受け、市町村の公共・公用施設の地下に整備するシェルター（特定臨時避難施設）については、現在、国が「武力攻撃を想定した避難施設（シェルター）の確保にかかる基本的考え方について（閣副事態第159号：令和６年３月29日）」に基づき、整備要件を満たす先島諸島の５市町村に整備する方針を示しておりますことから、今後も引き続き、国の検討状況を注視してまいります。 なお、今回のご意見につきましては、関係部署に情報提供させていただきます。

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
7	能登の災害から１年経った今、この災害から学ぶことは多くあると思う。能登の置かれた状況、何故１年経っても皆苦しんでいるのか、何故復興は進まないのか。交通の面から、インフラの面から、支援体制の面から、備蓄の面から、地形・土壌の面からなど、多岐に渡ると思うが、少しでも学んで活かせれば良いと思う。さらに、災害関連死は他人事ではなく、明日の自分だと思った。個々のプライバシー、排せつ、清潔、衣食住、医療体制などソフト面の充実が欠かせないと思った。	1	分類～④意見として伺ったもの（案件に直接関係のない内容） 能登半島地震を踏まえた本市の防災対策については、被災地支援のため派遣した本市職員の知見や内閣府が公表した「令和６年能登半島地震を踏まえた災害対応の在り方について（令和６年11月）」等を参考に検討を進めており、令和６年度においては、「コンテナ型トイレ等の供給に関する協定」や「キャンピングカー等の提供に関する協定」、「福祉避難所の設置及び運営に関する協定」など、民間事業者との災害時応援協定を締結し、災害対応力の強化に努めているところです。 今後につきましても、災害応急対策用品の整備や協定の締結による民間企業との連携強化など、市民の安心安全のため、防災・減災のための取り組みを進めてまいります。 なお、今回のご意見につきましては、関係部署に情報提供させていただきます。

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
8	健康寿命を少しでも伸ばすために、いろいろな団体が取り組んでいることは評価できるが、中には団体に馴染めない人もいると考えたとき、現在ある公園に高齢者のための遊具を備えるとか、各町内会や小中学校、大学に遊具や機械（器械）を設置するとか、いつでも、どこでも体力づくりができれば良いと思う。	1	分類～④意見として伺ったもの（案件に直接関係のない内容） 各町内会、小中学校、大学への遊具や器械の設置については、それぞれの施設において、設置目的や基準等により必要な設備を設置するものと考えておりますが、市の公園への遊具設置については、公園の設置時や遊具の更新時に、予め地域の町内会や住民などの意向を踏まえ設置をしており、現在市内の一部の公園に健康遊具などが設置されております。 なお、市では、「千歳市高齢者福祉計画・第９期千歳市介護保険事業計画」や「第３次千歳市健康づくり計画」において、施設に足を運ばなくても、誰もが気軽に健康運動に取り組むことができる「ノルディックウォーキングの推奨（ポールの無料貸出）」や「いきいき百歳体操の普及（インターネット配信・ＤＶＤ無料貸出）」など、介護予防やいつでもどこでも体力づくりができる環境づくりに努めているところです。 なお、今回のご意見につきましては、関係部署に情報提供させていただきます。
9	いろいろな角度で地域の分析もされて課題が明確になっている。民生委員児童委員は高齢者が多くを占めており、相談件数も増加傾向にあり、民生委員児童委員が課題と挙げているものの中で、既存の制度では解決できなく苦慮しているとあったが、これらを行う担い手の確保ができていないので、対価の支払いによる人員の確保をしてはどうか。	1	分類～③今後の参考とするもの 民生委員は、民生委員法に基づき厚生労働大臣から委嘱され、児童福祉法に定める児童委員を兼ねることとなっており、民生委員法において民生委員の給与は支給しないものと規定されております。 民生委員児童委員の担い手不足につきましては、本市だけではなく全国的な課題となっており、国においては、制度に精通する専門家等で構成する審議会等において、担い手確保の対策について検討を行っております。 市におきましても、担い手不足の現状を踏まえ、委員の負担軽減を図るため、国の基準により各委員に支給されている交通費等の活動費について、国に対し、北海道市長会を通じ、金額の引き上げを毎年度要望しているところです。

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
10	大学との連携強化を積極的に取り組むこと。市内に大学があり、学生が高齢者をささえていくことを推進すべきです。 ボランティア等の人材育成が急務で、又、町内会の担い手不足等で、千歳市職員が積極的に地域へ参加して、地域の支え手としての活動が必要です。	1	分類～②既に案に盛り込んでいるもの 本計画では、基本目標のひとつに「支え合いのまちづくり」を掲げ、「地域活動を支える人づくり」や「地域福祉の意識の醸成」、「地域における交流推進」を基本施策とし、大学生や市職員などを含めた地域住民が、世代や生活環境などに関係なく、お互いが支え合いながら、地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めることとしております。 大学生の高齢者を支える活動への参加については、北海道リハビリテーション大学との連携において、認知症予防などを目的として、地域の高齢者を対象に、学生が体力測定や認知能力測定などを行う「体力・脳力測定会」のほか、高齢ドライバーの運転に必要な心身機能の向上や免許返納後の健康維持を目的とした「高齢ドライバーサポート事業」などを実施し、地域住民との交流を図っております。 また、市職員の地域活動参加につきましては、「千歳市人材育成基本方針」」において、町内やコミュニティなど地域単位での活動や、市内ボランティア団体等の活動など、地域活動への積極的参加を促進しており、職員アンケート調査では、回答のあったうち35％の職員が、町内会やＰＴＡ、市民団体などの地域活動に参加しているところです。 今後におきましても、大学生や市職員を含めた地域住民の地域福祉活動への参加を推進してまいります。